

大阪市立大学 春の人権問題講演会

開催日時 平成24年5月25日(金)

10時40分～12時10分

会場 大阪市立大学 学術情報総合センター10階会議室

大阪市住吉区杉本3-3-138

[JR阪和線「杉本町駅」下車、徒歩約5分]

「インターネット上の人権侵害 尼崎インターネット差別事件を通して」

講師：細見 義博氏

《講演要旨》

尼崎市で2003年に、インターネットによる人権侵害事件が起こった。市職員が業務で使用しているパソコンのネットワークに、「不良職員を監視するNPO」の名前で、特定の職員を誹謗中傷するメールが多数の市職員に送信された。そこには、一般市民の立場を装って、不良職員を許せないという一見もっともらしい理由をつけホームページを立ち上げ、この職員が部落解放同盟の幹部だと名乗って脅迫したとか、女性をレイプしたといった事実無根の情報が貼り付けてあった。

この尼崎インターネット差別事件を通して、インターネット上の人権侵害について考えてみたい。

《講師プロフィール》

尼崎市再任用職員。

2007年3月、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市公共政策研究分野修士課程修了。

1975年から部落解放運動に関わり現在、部落解放同盟尼崎神崎支部書記長。小田北地域人権教育啓発促進委員会副会長。あまがさき人権まつり実行委員会事務総長。尼崎地域自治研究会事務局長。参加と協働あまがさきグループ(PPAG)代表。スマイルひろば地域推進委員会事務局長。

地域において、廃館になりかけた旧青少年会館を拠点に、若者の居場所を中心とした多世代、多文化交流広場「スマイルひろば」事業を展開。「協働」の視点で「人権のまちづくり・まち育て」を推進している。

学生、教職員、市民の皆さんの参加をお待ちしています。

※学生の参加者には「参加証」をお渡しします。

主催：大阪市立大学人権問題委員会

大阪市住吉区杉本 3-3-138

電話 06-6605-3504